

# 第78回定期地方大会開催 労働条件向上 組織拡大を大きな流れに



発行所  
国鉄労働組合長野地方本部  
長野市中衛所3-2-22  
発行者 富沢英一  
編集者 鈴木政一  
2015年10月15日  
第1512号



新執行部選出 富沢新委員長団結ガランパロー

富沢副委員長の司会で始まり、議長には中南信支部青木代議員（松本運輸区）、副議長には東北信支部宮澤代議員（長野運輸）を選出しました。太田委員長からは、①政治状況は戦争法案に多く

国労長野地方本部は9月19日、国労長野会館に於いて第78回定期大会を開催し、最重要課題である組織強化・拡大や労働条件改善、安全・安定輸送や出向先会社の労働条件改善などさまざまな課題を議論し、運動方針決定・ストライキ権確立、新役員を選出して日程を終了しました。

の国民が反対したが、残念ながら参議院で可決成立してしまつた。この戦争法を骨抜き、あるいは撤回させる取り組みと、違憲訴訟も視野に入れた取り組みの強化を確認したい。福島原発事故から

4年半が経過し、多くの国民が再稼働に反対する中、川内原発が再稼働した。戦争ができ、核をも保有することが出来る国にしてはならない。②組織拡大・強化について貨物長野分会の皆様の奮闘により2名の拡大があつた。関わりを持ち続ける事が大事。JR東日本では、JR東日本ステーションサービスが首都圏を中心に発足した。長鉄開発にも何らかの動きが予想される。長野鉄道サービスの皆さんと連絡会を立ち上げ、幾つかの労働条件の改善に努めてきた。パートナー会社に働くすべての人たちの労働条件の向上に力を入れていくことが必要。③安全・安定輸送では、JR北海道で様々な事故が起こつた時、この問題を他人事ととらえず点検摘

## 国労へ あなたの声が 仲間を変える



議長団・青木さん、宮澤さん

発運動をしていくことを確認した。国労でしか出来ない摘発運動を更に強化しよう。④国労は来年結成して70年の節目を迎える。より一層の組織強化と拡大を目標とする中で、各支部・分会・地区が運動の継続を今から考えていかななくてはならない。⑤国労会館の現状と課題でご理解協力をお願いしたい。国労長野会館は一般財団法人に移行しましたが、築21年がたち修繕の必要箇所も増えて来ています。組合員の財産としてこの会館を維持していくためにも、新たな収入財源として駐車場を賃貸契約としました。駐車スペースなどご不便をお掛けするがあると思いますが、ご理解をお願いしたい。と挨拶がありました。

**運動方針(案)  
が提案され、  
討論では7名  
が発言する**

昼食休憩時、長野駅前での戦争法への抗議集会に急ぎよ全員で参加しよう、との太田委員長の掛け声で参加。開始時間を1時間繰り下げました。午後に入り、飯山線分会より組織拡大があつた貨物長野分会に檄が渡され、決算・監査報告、予算(案)の提案がされ、質疑に入りました。  
(質疑は次回に掲載)



## 書記長答弁

○組織拡大は今後も一丸となって取り組むが、手待ち時間を活用して若い人たちと話をしてほしい。信州ロジでプロパー4名の加入になったが、当面は国労の中で彼らと一緒に運動をして育てていきたい。○北陸新幹線開業の問題点は、関係分会・職協と連絡を取って必要により会議を開きながら見直し要求の取り組みをする。○冬期については、会議をやりながら前進するよう取り組んで行く。○しなの鉄道現状は、しなの鉄社員の声聞き一緒になって取り組む方法を相談をしながら行っていきたい。○戦争法廃止の取り組みは今後ますます続く闘い。労働組合として積極的に共闘の仲間と

智久行動できるようにしたい。○しなの鉄道について行動に対する旅費について、執行部で検討したい。○遠距離通勤解消を今後も引き続き努力する。



### 書記長集約

○戦争法案は残念ながら成立してしまった。今後は廃棄をめざす行動に全力を上げる。原発事故での福島を許さずに原発再稼働阻止・再生可能エネルギーへの政策転換を目指す。○加入した仲間の声や分会での取り組みや経験を全体で共有していく。組織拡大は職場の改善や安全作業の確保と一体。仲間と信頼を築き、分会や職場の活動を活性化していく事が必要。○東日本会社・貨物会社とも効率化・合理化による業務委託や外注化が拡大されてきている。安全・安定輸送を支える

ための技術継承や教育の充実・労働条件の改善・安全対策などを求める。

○グループ会社の労働条件改善の取り組みの強化、安全総点検・仕事総点検運動を職場に定着させることが必要。

諏訪書記長の集約のあと、運動方針と予算を全体の拍手で承認しました。新役員の選出、ストライキ権が確立され、「戦争法撤廃」の特別決議と大会宣言が採択され、最後に富沢新執行委員長の団結カンパニーで閉会となりました。

### 2015年度役員

#### 執行委員長

高沢政二 (東北信)

#### 執行副委員長

鈴木英人 (重岡所)

#### 執行副委員長

矢澤栄雄 (東北信)

#### 書記長

諏訪浩二 (重岡所)

#### 執行委員

原山 真 (重岡所)

清水孝次 (中南信)

坂本 保 (中南信)

高橋 徹 (東北信)

坂本善昌 (中南信)

宮本 充 (中南信)

三井佳章 (東北信)

飯島英樹 (中南信)

# 原水禁広島の旅に参加して

宇佐美正信

8月4日から6日にかけて、長野県原水禁代表団の一員として参加させていただきました。私自身は広島へは何回か行かせていただく機会がありましたが、今回は戦後70年の節目の年に子供代表団として私の二人の息子(高3、中3)も参加させていただきました。高3の息子は小5の時にも参加したので2回目になります。その際には、ただ戦争は悲惨なものだと感じたくらいだったと思いますが今回は長野県子供代表団の団長として、その任務を背負いながら戦争というものを改めて「二度と戦争はしてほしくない」と強く感じたと書いていました。また、中3の息子は修学旅行では行ったものの真剣に原爆や戦争を感じることもなくただ楽しい旅行でした。したが、今回の代表団では実際に被爆者の話を聞くなどその恐怖と悲惨さに涙が止まらなかったと感

想を言っていました。

そうした中、私は子供たちとはほぼ別行動で原水禁の催しに参加してきました。平和公園からのデモ行進、開会集会、分科会、閉会集会と大変暑い三日間でした。

とりわけ印象に残っているのが、開会集会で現地広島の女子高校生が平和大使というのを務めているのですが、その中の発言で「私たちは戦争の話をおじいさんやおばあさんから聞いて、祖父母、父母が受けた原爆の被害、後遺症に憤りを感じ平和大使になりました。平和大使になってもできるこ

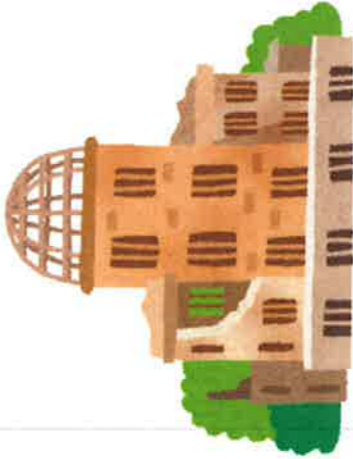
とは限られていません。(中略)私たちは微力だけど無力じゃない」この言葉に、いま私は置かれている現状を考えさせられ、力強さを感じ、勇気もらいました。最近、東京などで若者が声をあげ

ずにはいられないとして、デモや集会に参加していると報道されています。

地方でも「戦争をさせない1000人委員会」や「九条の会」に多くの若者が参加をしていると聞きます。「二度と戦争を起してはいけない」

「戦争への道を歩んではいけない」本当に今の政治情勢を嘆き、何か行動を起こさなくてはいけないと思う仲間がいます。この多くの仲間も微力ではあるけれど、決して無力感を抱いているわけではないと思います。

私達も、無力を感じるのではなく、多くの仲間と手をつなぎ、絶対に悲惨な過去、過ちを二度と繰り返さない運動を粘り強く行っていくことが大事だと強く感じた広島の旅でした。



# 第3回国労東日本ゴルフトーナメント 長野は健闘し5位

第3回東日本ゴルフトーナメントが、9月7日、千葉県房総カントリークラブで開催された。長野地本からは、6月21日の大雨の中、開催された第5回KNT杯でのグロス上位4名 山口誠一(東北信) 原山安幸(重岡所) 鶴見章(東北信) 布山一門志(中南信)が参加し、優勝目指して頑張ってきました。

前日よりの雨で心配された天気もスタート時には雨も上がり、逆に蒸し暑い天気の中でのラウンドとなりました。

大会は、2連覇中の千葉地本を止められるか? 3連覇があるのから、など様々な焦点がある中、プロ顔負けのナイスショット、珍プレーが続出しました。結果は、上野支部が336点で見事優勝、仙台地本が340点で準優勝、3位に大宮支部が入りました。長野地本は健闘しましたが、350点で5位でした。ベストグロスも78点の高スコアでした。

- 優勝 上野支部
- 2位 仙台地本
- 3位 大宮支部

来年以降、開催日については見直しがあるようですが、いつか長野地本が優勝できるよう頑張ります。

(報告 付き添いで参加の塩原智久)

